

フォーラム

テーマ「消費者市民を育む学校消費者教育の展望
ー18 歳成年時代を見据えた多様な連携ー」

第1部 基調講演

「成年年齢引き下げの課題と学校消費者教育への期待」

講演者 中村 新造氏（弁護士）

第2部 シンポジウム

「18 歳を成年消費者として迎えるためにできること」

シンポジスト 中村 新造氏（弁護士）

西田 恵理氏（大阪府立茨木西高等学校家庭科教諭）

清水 竜 氏（NPO法人スマセレ専務理事）

大本久美子氏（大阪教育大学教授）

コーディネーター 鈴木 真由子氏（大阪教育大学教授）

開催日程			
	事項	時間	場所
13 日	理事会	11:00～12:00	2F 207-1
	受付・クローク	12:00～	2F 203
	フォーラム	13:00～16:30	1F 107 ホール
	総会	16:45～17:45	1F 107 ホール
	懇親会	19:15～21:00	あべのハルカス
14 日	受付	9:00～	2F 203
	研究発表(午前)		
	第1会場	9:30～12:20	2F 201
	第2会場	9:30～12:20	2F 204
	第3会場	9:30～12:20	2F 207-1
	第4会場	9:30～12:20	2F 207-2
	昼食・休憩室		2F 202
	ポスターセッション		2F 202
	研究発表(午後)	13:30～16:20	各会場

懇親会場所 大阪マリOTT都ホテル(あべのハルカス)

19F ライブキッチン COOKA (クーカ)

(あべのハルカス 1Fに19F 直通エレベーター)

参加申込

【方法】本学会ホームページの「参加申込フォーム」
からお申し込みください。QRコードからも入力
画面に移動できます。

【締切】9月7日(金)

参加費等の払込み

【方法】合計金額をゆうちょ銀行へお振込みください。

◆ゆうちょ銀行から振込

記号：14780 番号：21939401

名義：第38回日本消費者教育学会全国大会

◆他の金融機関からの振込み

店名：四七八 店番：478

普通 口座番号：2193940

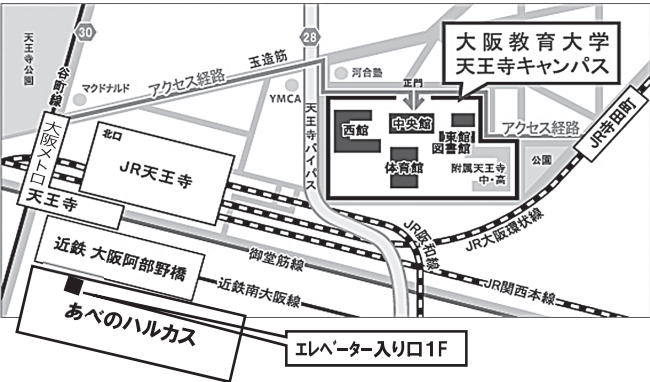
名義：ダイサンジュウハチカイニホンショウヒシャ

キョウイクガツカイゼンコクタイカイ

【締切】9月7日(金)

会員	事前申込 3,000 円（当日 4,000 円）
学生	事前申込 1,000 円（当日 1,000 円）
非会員	1 日目無料 2 日目 1,000 円（要旨集代） （両日とも当日受付）
懇親会	5,000 円(会員・学生同額）（事前申込のみの受付）
昼食(14 日のみ)	1,000 円（事前申込のみの受付）

会場までの交通案内



- JR 天王寺駅、大阪メトロ天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、徒歩約 10 分
- JR 環状線寺田町下車、徒歩 5 分

日本消費者教育学会

第38回

全国大会プログラム



開催期日 2018 年 10 月 13 日～14 日(土・日)

会 場 大阪教育大学天王寺キャンパス

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町 4-88

後 援 日本学術会議生活科学系コンソーシアム

ごあいさつ

日本消費者教育学会会長 東 珠実

(相山女学園大学 教授)

このたび、日本消費者教育学会第38回全国大会が大阪で開催されることになりました。本大会では、いま、まさに社会的な関心の高い「18歳成年」をテーマとするフォーラムや、多くの学会員による研究発表が予定されています。

18歳成年への対応については、消費者教育の推進に関する基本方針の変更に当たり重点事項の最初に「若年者の消費者教育」が挙げられ、消費者教育推進会議の若年者の消費者教育分科会取りまとめでも「教員の指導力向上のための提言と具体的方策」が掲げられるなど、喫緊の課題となっています。その一方で、国連SDGs やエシカル消費の普及・啓発をはかる動きも加速化し、消費者教育の重要性が広く認識されるなか、本大会への期待も高まります。

大会開催に際し、野田文子大会実行委員長をはじめ、関西支部の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

歓迎のことば

第38回全国大会実行委員長 野田 文子

(関西福祉科学大学 教授)

6 月の大阪北部地震、7 月の西日本豪雨で被災されました皆様方にお見舞い申し上げます。身近に自然災害の恐ろしさを知ると同時に、安定した消費活動があつてこそ、日々の暮らしができるかと改めて感じました。

第38回全国大会は、大阪教育大学天王寺キャンパスにて開催いたします。成年年齢引き下げに伴い予想される多様な課題は自然災害にも匹敵する深刻さと広がりがあります。円滑な実施には、多くの人々が的確な見通しを持ち、怠りなく準備することが大切です。そのような状況を受け止め、成年年齢の引き下げをシンポジウムのテーマとし、一般公開といたしました。より多くの皆様方においでいただきますようお願い申し上げます。

研究発表プログラム

口頭発表 14 日(日)

第1会場 201 第3講義室

【午前の部】9:30～12:20

1	子どもの事故防止へ向けた有効な対策とは ー保護者等への意識調査の結果からー	○尾崎 裕子（消費者庁） 坂本 有芳（鳴門教育大学） 稲倉 典子（大阪産業大学）
2	若い世代における倫理的消費の認知度が 購買行動に及ぼす影響	○加渡 いづみ（四国大学短期大学部） 具志堅 れい
3	成人（現役世代）向けの消費者教育の必要性 ～消費生活相談からみた消費者教育の在り方を 中心に～	○柿沼 由佳（公益社団法人全国消費 生活相談員協会消費者教育研究所）
4	成年年齢引き下げに伴う消費者教育の課題 ー消費者支援団体等の取り組み調査をもとにー	○松原 由加（公益財団法人関西消費者協会） 鈴木 真由子（大阪教育大学） 吉井 美奈子（武庫川女子大学） 小牧 美江（大阪司法書士会） 野口 美樹（株式会社タスキン）
5	地方消費者行政による消費者教育施策の実態と 課題 ー全国主要都市調査を中心にー	色川 卓男（静岡大学）

【午後の部】13:30～16:20

6	損害保険に関する大学生の意識と知識	田中 由美子(九州女子大学)
7	食を学ぶ女子大生の食品ロス削減意識と行動 ーSDG s とプロシューマー教育ー	○宮川 有希（横浜国立大学大学院教育 学研究科）上村 協子（東京家政学院大学） 山岡 義卓（神奈川大学） 松葉口 玲子（横浜国立大学）
8	医療サービスデジションリテラシー育成のための 要素分析	田村 久美（川崎医療福祉大学）
9	消費生活トラブルに関する若者の消費者教育の 取組についての研究	寺地 一浩（日本経済大学）
10	学校教育における消費者製品安全教育 ー危険を判断し回避する力の育成を目指してー	○石川 智子（元大阪教育大学院生） 大本 久美子（大阪教育大学）

ポスターセッション 14 日(日) 202 第4講義室

1	消費者市民を育むシンガポールの学校教育	○鈴木 真由子（大阪教育大学） 大本 久美子（大阪教育大学）
---	---------------------	-----------------------------------

第2会場 204 第5講義室

【午前の部】9:30～12:20

1	振り込み詐欺被害防止のための カルタ教材の開発	石橋 愛架（鹿児島大学）
2	自助努力型ファイナンシャルサポート ネットワークシステムの開発検討	○二木 恵（金沢大学総合メディア基盤 センター） 尾島 恭子（金沢大学）
3	生活困難者の消費者教育プログラム開発 に関する研究	川崎 孝明（尚綱大学短期大学部）
4	妊婦の食食によるメチル水銀摂取に関わ る消費者教育	加藤 絵美（NPO法人親子消費者教育 サポートセンター）
5	消費者像と行政施策	福頼 尚志（島根県庁）

【午後の部】13:30～15:45

6	地方自治体における消費者教育 コーディネーターの課題 ー教員の成員性に着目してー	柿野 成美（公益財団法人消費者教育 支援センター）
7	消費者教育コーディネーターの育成	矢吹 香月（岡山県消費生活センター）
8	消費者教育の担い手に関する研究 ～杉並区消費生活サポーター （任意団体）への調査を中心に～	中上 直子（椋山女学園大学研究生）
9	企業による大学生への消費者市民教育の実践 と評価	川口 徳子（日本ハム/日本ヒープ協議会）

（コアタイム 13:00～13:30）

2	消費者市民を育むオーストラリアの学校教育	○大本 久美子（大阪教育大学） 鈴木 真由子（大阪教育大学）
---	----------------------	-----------------------------------

第3会場 207ー1 第6講義室

【午前の部】9:30～12:20

1	衣服の取扱い表示に着目した洗たく教材 の開発	○佐藤 麻子 （東京学芸大学附属大泉小学校） 山本 紀久子（元茨城大学）
2	アサーション・ディベート授業による生 徒の変容 ー自立した消費者にむけてー	齋藤 美重子（川村学園女子大学）
3	1 枚ポートフォリオ評価（OPPA）を 用いた消費者教育の実践	神山 久美（山梨大学）
4	企業の社会的責任に関する授業実践	橋長 真紀子（札幌学院大学）
5	調理実習で育む消費者市民 ～食品ロスに着目して～	石島 恵美子（茨城大学）

【午後の部】13:30～16:20

6	中学校・高校の連携と家庭科・社会科の 融合 ー高等学校家庭科における消費者 主権者教育の実践ー	大藪 千穂（岐阜大学）
7	中学校・高校の連携と家庭科・社会科の 融合 ー中学校家庭科における消費者主 権教育の実践ー	○横山 真智子 （岐阜県各務原市立板丘中学校） 大藪 千穂（岐阜大学）
8	調理実習と関連を図った消費者市民教育 カリキュラムによる学習効果の転移の実 態と課題	加賀 恵子（大阪教育大学）
9	消費者教育での協働の在り方に対する ー考察ー中学校における実践を中心にー	泉谷 徹（名古屋大学大学院）
10	大学生を対象とした消費者市民教育の課題 ー人権の視点からの検討ー	小牧 美江（大阪司法書士会）

3	対象者に合わせた食品表示プログラムの提案	○蘆田 知子、大森 節子、小川 桂子、 何 慧貞（NPO法人C・キッズ・ネットワーク）
---	----------------------	--

第4会場 207ー2 第7講義室

【午前の部】9:30～12:20

1	広域型大学連携による消費者市民教育の 担い手育成に関する実践的カリキュラム の構築	○岡崎 裕（和歌山大学） 横田 修（追手門学院大学） 大矢 萌々華（阪南大学） 浦谷 拓弥（大和大学） 戸嶋 陽向（阪南大学） 山口 詩織（追手門学院大学） キン イチメイ（大阪教育大学）
2	大学生を消費者教育推進サポーターとして 育成する取組	三宅 元子（名古屋女子大学）
3	農業体験プログラムの企画・運営に携わること の消費者教育的意義	山岡 義卓（神奈川大学）
4	消費者市民を育成するための「こどものまち」 に関する実践的研究 ー参加者へのアンケート調査結果からー	○小田 奈緒美（就実短期大学） 東 珠実（椋山女学園大学）
5	消費者市民を育成するための「こどものまち」 に関する実践的研究 ーこどもたちの行動の分析とまちの課題ー	○東 珠実（椋山女学園大学） 小田 奈緒美（就実短期大学）

【午後の部】13:30～16:20

6	特別支援学校高等部家庭科における消費者 教育の実施状況 ーネットショッピングに関する消費者教育 教材に重要と考える要素についてー	○新谷 洋介（国立特別支援教育総合研究所） 長谷川 元洋（金城学院大学） 上野 颯子（金城学院大学）
7	放課後児童クラブ（学童保育）における 消費者教育の可能性 ー神戸市C学童保育 「買い物・調理体験イベント」を起点に～	○神澤 佳子（奈良県消費生活センター） 千歳 万理（神戸松蔭女子学院大学） 片平 理子（神戸松蔭女子学院大学）
8	消費者の科学リテラシー向上を目指した 教材開発とその実践	○石川 幹人（明治大学） 山本 輝太郎（明治大学大学院）
9	アクティブラーニングを取り入れた講座の 効果 ー高齢者に対する金融教育講座を通じてー	○林 剣（広島大学社会科学研究科） 出路 千恵（公益財団法人 日本消費生活 アドバイザー・コンサルタント・相談員協会） 相馬 敏彦（広島大学社会科学研究科）
10	公教育での消費者教育を求めて！20年の軌跡	○大森 節子、小川 桂子、何 慧貞、 蘆田 知子（NPO法人C・キッズ・ネットワーク）